

新しい年に思う

干支を迎えた方から抱負を一言

気持ちを新たに 24歳

梅澤 しおりさん



新年あけましておめでとうございます。

私は11歳の時に隣町から引越して来て、自然豊かな環境と村の人々の温かさにより、すぐに新しい環境にも慣れ、東秩父村が気に入りました。

現在私は、幼稚園教諭1年目として働いており、小さい頃からの夢だった保育者になることができました。学生時代に東秩父村の保育園、小学校、学童保育でお世話になる機会があり、子どもたちと接した経験が今の仕事に活かすことができています。夢を叶え、頑張ることができているのは、周りの人たちの支えのおかげです。感謝の気持ちを忘れず、今年も成長できる年にしていきます。

新年を迎えて 36歳

梅澤 幸生さん



新年あけましておめでとうございます。

私は実家の側に家を構え、家族4人で生活しております。長女も去年から小学1年生となり毎日、長男と慌しくも元気に通学しており、家族揃って健康で過ごせることに感謝しています。子どもたちの学校行事に参加させていたくなくて、少人数ながらも、熱心に取り組む姿に、たくましさを感じ、よき仲間とともに成長してくれることを願っています。

私は福祉の仕事に従事しており、東秩父村も多くの高齢化問題を抱えるなかで、微力ながら貢献できればと考えております。村民の皆さまにとって良い年でありますようお願い申し上げます。

今年も喜び多い年に…48歳

野口 多喜さん



謹んで新年のお喜びを申し上げます。

毎日があつという間に過ぎ、気がつけば4度目の干支が廻って来てしまいました。改めて月の流れの早さを実感しています。家族や周りの方々の応援で息子3人のうち2人が成人を迎えました。今まで夢中で過ごしてきましたが、今年には自分の時間を取りたいと考えています。そして、今まで応援していた、いた方々や村に少しでも恩返しが出来れば、と思っています。将来子どもたちが住み続けたいと思ってもらえる村に、微力ながらも私も参加させていた、だきたいと思えます。

「心を整える」この言葉を motto に、今年も進んでいきます。

感謝、村への思い 60歳

吉野 文泰さん



謹賀新年。本年は還暦を迎えることに感謝いたします。東秩父村に生まれ育って幸せです。

現在、単身赴任で横浜、週末村に戻り日曜日に帰る繰り返しで13年目になります。村から出て感じることは村民の温かさです。長岡での勤務時、中越地震を経験した山古志村から避難中の老人の言葉です「余震があつても山に戻りたい」と言っていたことを覚えております。市内に居て安全な場所なのに理解出来ませんでしたが、今その言葉が分かります。村に戻りリフレッシュしていることで生きていること感じます。

今年の心構えは思いやりの行動がとれるじいじになることです。村民皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

新たな目標に向かって 72歳

根岸 良次さん



新春のお慶び申し上げます。定年退職するまで、仕事が忙しく、なかなか地域の行事に参加することが出来なかったのですが、退職後は、自分なりに参加したり、グランドゴルフや、妻と一緒に歌唱教室にも通っています。

5年前から無農薬野菜作りをはじめました。苗を買うのではなく、種まきから始めています。紫色の大根やさつまいも、オレインジ色のジャガイモや黒いスイカなど、変わった野菜を苦戦しながらも楽しく育てています。今後、目標をたてて自分なりに色々試みていきたいと思っております。

皆さまにとって良い年でありますようお願い申し上げます。

